

【2017年度不開講】 2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
スポーツ文化社会科学特論Ⅱ	1・2年次秋学期 (2・4セメスター) 集中講義・隔年開講	講義	2	寒川 恒夫
授業概要				
<p>スポーツ人類学はスポーツの文化人類学を意味し、最広義のスポーツとスポーツする身体とを、文化人類学(民族学、民俗学)の方法によって文化の問題として論じる学問である。授業では、今日のスポーツ人類学があつかう問題領域の広がりを示す。</p>				
授業目標(到達目標)				
<p>スポーツを文化(文化人類学が理解する文化)としてとらえ、文化の問題として考えることができるようになる。</p>				
成績評価方法・基準				
<p>ディスカッションの内容50%、レポート50%</p>				
教科書・教材・参考文献 等				
<p>(参考文献) 寒川恒夫『遊びの歴史民族学』明和出版、2003. ブランチャード、K.、チェスカ、A. (寒川恒夫訳)『スポーツ人類学入門』大修館書店、1988. 寒川恒夫(編・著)『ビジュアル図鑑 世界と日本の民族スポーツ 全4巻』ベースボール・マガジン社、2013.</p>				
授業計画				
	項目・内容			
1	スポーツ人類学の専門用語(スポーツ、文化)			
2	スポーツの起源に対する人類学の寄与			
3	遊び(鬼ごっこ:子とろ子とろ)に見る文化の起源、伝播、変容			
4	ボールゲームと宇宙論			
5	相撲と天皇統治文化			
6	日本の相撲の起源			
7	綱引きと聖婚と八岐大蛇			
8	民族の生活とスポーツ			
9	スポーツと宗教			
10	スポーツと観光人類学			
11	運動と健康の文化			
12	異常と正常の身体			
13	遊びと労働をめぐる文化			
14	性とスポーツ(近代スポーツへの女性参加とセクシュアリティ)			
15	身体技法、エスノサイエンス身体論			
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
<p>スポーツ人類学は、過去のスポーツから今日の国際スポーツや民族スポーツまで、また子供の遊びや大人の真剣な競技、動物スポーツ、武道、舞踊、癒しや養生、さらに身体論まで論じます。授業で、文化研究の多様性を理解していただければ幸いです。</p>				